

事務連絡
平成26年9月16日

各位

中央農業研究センター北陸研究拠点
作物開発研究領域
大麦育種担当 長嶺敬

関東東海北陸農業試験研究推進会議
北陸農業部会 平成28年度 冬作物技術研究会の資料作成のお願い

会議時に各県よりご報告いただく麦作概況、研究概況についての資料の作成についてご連絡いたします。

下記の内容で資料作成いただき、各一部を郵送またはメールで下記提出先まで11月19日までにご提出ください。

1. 出席申し込み
2. 別紙1様式で資料作成して下さい(生産概況+品種動向+重点検討項目等の資料)。
3. 各県の麦に関する試験研究状況あるいは現場の課題などがわかる資料(概要、研究発表、その他)各県2課題程度(ページ数は自由)。これをもとに2日目の「各県のおもな麦類研究成果についての検討」をすすめます。
4. 「成果情報」候補もあれば、出してください。

提出先 問い合わせ先

〒943-0193 上越市稲田1-2-1

事務局：中央農業総合研究センター北陸研究センター 作物開発研究領域(大麦育種)
長嶺 敬 naga@affrc.go.jp TEL 025-526-3256(直通) FAX 025-524-8578

締め切り日：11月19日

平成 28 年度 北陸農業部会 冬作物技術研究会 出席申し込み

参加される方（○×で記載をお願いします）

所属・職名	氏名	24日 会議	25日 会議	懇親会 24日中央農研内 17:30-19:00

懇親会

25日中央農研内で会費 1000 円で行います

1. 最近の麦作動向

1) 麦種別作付面積の推移 (h a)

収穫年度 (平成)	品種名	27年産 面積(ha) 比率(%)	28年産 面積(ha) 比率(%)	29年産(今秋 まき) 面積(ha) 比率(%)
小麦				
六条大麦				
二条大麦				
はだか麦				
計				

2) 品種の作付動向

2. 本年度の気象、生育概況及び問題点

3. 奨励品種の改廃、奨励品種候補 (予定を含む)

4. 有望系統とその特長

5. 今後の麦作推進方向

6. 育成地への要望

28年度重点検討課題

「北陸産麦類の新たな展開にむけて」

7. 自県での「もち麦」の生産に向けて予想される問題点と対策・要望

8. 自県での硝子粒問題の対策進捗状況

(現状把握の状況、生産者・実需者への説明状況、対策技術開発・現場指示など)

9. (昨年の大暖冬をふまえて) 気象変動による麦作の問題と対策

(暖冬による具体的問題、年次変動への対策、作柄安定化に向けた技術開発取り組みなど)